

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年7月5日(2022.7.5)

【国際公開番号】WO2020/006233

【公表番号】特表2021-530453(P2021-530453A)

【公表日】令和3年11月11日(2021.11.11)

【出願番号】特願2020-571855(P2020-571855)

【国際特許分類】

C 0 7 D 4 0 1 / 1 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

A 6 1 K 9 / 4 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 P 3 5 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 P 4 3 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 K 3 1 / 4 5 4 5 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 K 3 1 / 5 0 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 K 3 1 / 4 7 0 9 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 K 3 1 / 5 3 7 7 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 K 3 1 / 4 5 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 7 D 4 1 3 / 1 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 K 4 7 / 3 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

20

A 6 1 K 4 7 / 1 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 K 4 7 / 2 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 K 4 7 / 3 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 K 4 7 / 1 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 7 D 4 0 1 / 1 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

C 0 7 D 4 0 1 / 1 2 C S P

A 6 1 K 9 / 4 8

A 6 1 P 3 5 / 0 0

A 6 1 P 4 3 / 0 0 1 1 1

30

A 6 1 K 3 1 / 4 5 4 5

A 6 1 K 3 1 / 5 0 6

A 6 1 K 3 1 / 4 7 0 9

A 6 1 K 3 1 / 5 3 7 7

A 6 1 K 3 1 / 4 5 4

C 0 7 D 4 1 3 / 1 4

A 6 1 K 4 7 / 3 6

A 6 1 K 4 7 / 1 2

A 6 1 K 4 7 / 2 6

A 6 1 K 4 7 / 3 8

40

A 6 1 K 4 7 / 1 4

C 0 7 D 4 0 1 / 1 4

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月27日(2022.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

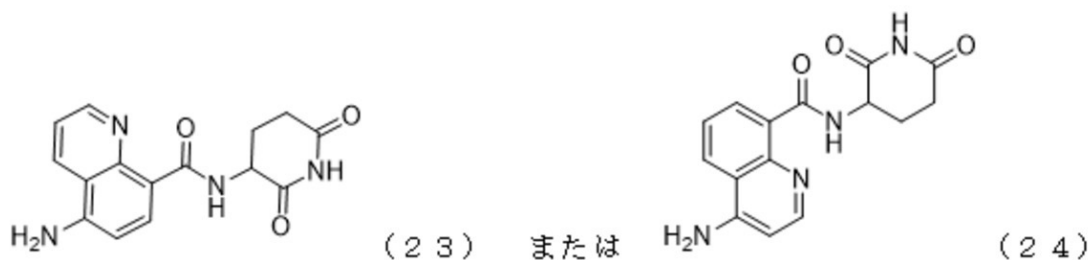
【補正の内容】

50

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

構造 2 3 または 2 4

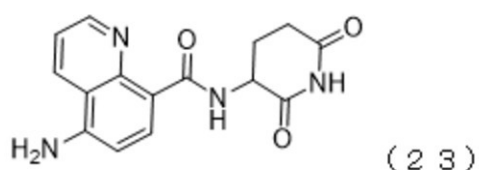


10

により表される構造を有する化合物、またはその薬学的に許容される塩もしくは立体異性体。

## 【請求項 2】

前記化合物が

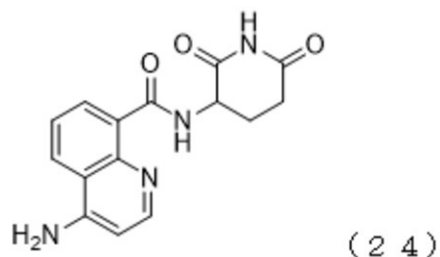


20

である、請求項 1 に記載の化合物、またはその薬学的に許容される塩もしくは立体異性体。

## 【請求項 3】

前記化合物が



30

である、請求項 1 に記載の化合物、またはその薬学的に許容される塩もしくは立体異性体。

## 【請求項 4】

治療有効量の請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容される塩もしくは立体異性体、および薬学的に許容される担体を含む、医薬組成物。

40

## 【請求項 5】

カプセルの形態である、請求項 4 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 6】

治療有効量の請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に許容される塩もしくは立体異性体を含む、異常なタンパク質活性により特徴付けられる疾患または障害を治療するための医薬組成物であって、前記疾患が、白血病、リンパ腫および多発性骨髄腫から選択される血液がんである、医薬組成物。

## 【請求項 7】

50

前記疾患が多発性骨髄腫である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

治療有効量の請求項 2 に記載の化合物またはその薬学的に許容される塩もしくは立体異性体を含む、異常なタンパク質活性により特徴付けられる疾患または障害を治療するための医薬組成物であって、前記疾患が、白血病、リンパ腫および多発性骨髄腫から選択される血液がんである、医薬組成物。

【請求項 9】

前記疾患が多発性骨髄腫である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

治療有効量の請求項 3 に記載の化合物またはその薬学的に許容される塩もしくは立体異性体を含む、異常なタンパク質活性により特徴付けられる疾患または障害を治療するための医薬組成物であって、前記疾患が、白血病、リンパ腫および多発性骨髄腫から選択される血液がんである、医薬組成物。

10

【請求項 11】

前記疾患が多発性骨髄腫である、請求項 10 に記載の医薬組成物。

20

30

40

50